

災 害 対 策 等 特 別 委 員 会 日 程

日時 令和5年2月6日（月）
行政改革等特別委員会終了後
場所 第1議会委員会室

- 1 藤沢市災害対策等特別委員会報告書（案）について

令和5年 2月 6日

議会議長

佐 賀 和 樹 様

藤沢市災害対策等特別委員会
委員長 桜 井 直 人

藤沢市災害対策等特別委員会報告書（案）

市内の災害対策等について調査・審査した結果を、次のとおり報告します。

1 委員会の設置目的

地震、津波、風水害、都市災害及び厚木基地による航空機の騒音等から、市民の生命、身体及び財産を保護し、災害の拡大防止と被害の軽減を図るため、その防災対策全般について調査・審査する。

2 委員会の活動の概要

(1) 設置・開催の状況

令和元年5月21日の臨時会において当委員会が設置され、同年5月31日、9月7日、11月19日、令和2年5月8日、7月29日、令和3年1月27日、8月26日、11月18日、令和4年2月4日、9月3日、11月22日及び令和5年2月6日の計12回委員会を開催した。

(2) 調査・審査の概要

令和元年度は、水防訓練の実施状況の視察を行い、水害対策の推進体制を確認したほか、総合防災訓練における避難施設開設・運営訓練、人命救助訓練、道路啓開・復旧訓練、ライフライン復旧訓練等の視察を行い、地震対策の推進体制を確認した。また、台風第15号・19号の被害及び対応等について審査した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応として、5月1日時点における実施体制、サーベイランス・情報収集、情報提供・共有、予防・まん延防止、保健・医療、市民生活及び市民経済の安定の確保について審査した。また、7月時点までの保健所の取組、藤沢市民病院の対応と今後の取組について審査した。さらに、1月時点における患者発生状況、藤沢市民病院の対応、ワクチン接種に向けた取組について審査した。

令和3年度は、藤沢市地域防災計画の修正に関して、災害対策基本法及び関連する法律の改正等に伴う見直し、新たな要素に基づく見直し、今後の予定等について審査した。また、令和3年7月3日に発生した静岡県熱海市土石流災害に伴う緊急消防援助隊活動について報告を受けた。さらに、新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応等として、第6波の感染拡大に向けた、11月時点における取組の検証、ワクチンに係る3回目接種等の取組、及び11月時点における全庁的な対応の振り返りと保健所の現状について審査した。

令和4年度は、藤沢市防災フェアの実施状況の視察を行い、市民が防災を身近に体感・体験することで防災意識の向上を図る取組について確認した。また、藤沢市地域防災計画の修正に関して、神奈川県防災会議幹事意見等に基づく修正や防災関係機関との調整等による修正等について審査した。また、新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応等として、10月時点までの本市の感染状況、ワクチン接種事業の取組及び接種状況、国・県の制度改正、本市の体制見直しの経過、今後の取組について審査した。

3 今後の市の方向

- (1) 藤沢市国土強靱化地域計画及び藤沢市地域防災計画を有効かつ適切に活用することにより、災害に強い都市づくりを進めるとともに、市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護し、災害の拡大防止と被害の軽減に努め、防災の万全を期する。また、大規模地震や津波による被害の最小化を図るため、藤沢市地域防災対策アクションプランに基づき、防災知識の普及啓発、緊急情報の伝達、避難対策の強化、拠点施設の再整備等、ハード・ソフトの両面から、防災・減災を目指した実効性のある施策・事業の推進を図る。
- (2) 集中豪雨及び台風の発災時に迅速かつ的確に対応するため、水防技術の向上と水防態勢の整備を図る。
- (3) 今後激甚化する可能性のある気象災害に備え、配備体制や避難対策のさらなる充実・強化に取り組む。
- (4) 厚木基地にかかわる航空機騒音については、県及び基地関係市とともに騒音被害の解消に向けて、引き続き要請していく。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大期の患者急増に備え、保健所機能の強化と合わせ、引き続き、県や藤沢市医師会との連携を密にし、地域療養の取組についても強化する。基本的な感染症対策の徹底等に関する周知を継続するとともに、感染状況に応じた適時適切な情報提供を行い、市民の安全で安心な暮らしを守るべく取り組む。

以 上